

日本初！シカの低密度管理を目指して@赤谷の森

センサーカメラとわなの オーナーになって応援しよう！



日本の自然保護にとって大きな課題となっているシカの増加。

シカを低密度で管理する手法の開発にはセンサーカメラとわなの設置が欠かせません。

センサーカメラとわなのオーナーになって活動を支えてくれませんか？

募集期間：2019年8月末まで

オーナー期間：2019年9月上旬～2020年3月末

特典① オーナーとなったセンサーカメラ・わな周辺の写真を、月に1度ご報告！

特典② 試験で捕獲したシカの革※1を使ったグッズを1つプレゼント※2

特典③ わなコースの方は、シカ肉イベントにご招待！

センサーカメラコース

おひとり **3万円**
(※寄付金扱いとなります)

わなコース

おひとり **5万円**
(※寄付金扱いとなります)

A ポーチ (名刺サイズ)



B 印鑑ケース



C 熊鈴



※1：捕獲できなかった場合、十分な量のシカ革が確保できなかった場合は、尾瀬等のシカ革となります。ご了承下さい。

※2：上記A～Cの中からお選び下さい

シカの低密度管理って？



シカの増加は、日本の森における最大の課題です。
いま各地で対策が行なわれていますが、
農林業の被害や生態系の破壊など、被害が確認できるほど数が増えては
捕獲はもちろん、傷ついた森林管理に膨大なコストが必要となります。
そのため、森林が長く健全であるためには、
シカが増える前の“低密度”の状態での管理することが不可欠です。



日本自然保護協会では、私たちの活動地のひとつ「赤谷の森」(群馬県みなかみ町)をフィールドに、昨年度に引き続き、“低密度管理”のための捕獲試験を行います。野生動物と共存する新しい技術として、この取り組みへのご支援をお願いします。

寄付金の使い道

低密度管理手法の開発のために必要なセンサーカメラとわなの購入費用及び調査費用に役立たせていただきます。

現地のご案内もいたします

私たちは1月と2月を除く毎月第一土日に「赤谷の日」というボランティア活動日を設定しています。赤谷の日にご参加いただければ、オーナーになっていただいたセンサーカメラとわなの設置場所をご案内いたします。



日本自然
保護協会

自然のちからで、
明日をひらく。

お問い合わせ 公益財団法人 日本自然保護協会 (NACS-J)

担当：松井・出島

TEL：03-3553-4107

<https://www.nacsj.or.jp/2019/07/16708/>

詳細はこちら→

